

年頭のあいさつ



理事長 北堀 篤

皆さま、あけましておめでとう
ございます。

昨年は皆さまに大変お骨折りを
いただきながらそれぞれ諸事
業を滞りなく終了出来ましたこ
とお礼を申し上げます。

その中で、コロナも2類から
5類になりました、そしてもう
一つは、経済が少しずつ回復し
ていただいたということ、夏
祭り、冬祭りが通常通り開催で
きました。また少しでも景気が、
V字回復とまでは行きませんけ
ど少しずつ戻ってきたというこ
とで、大変皆様にご尽力いただ
きました事にお礼を申し上げます
いと存じます。

今年はずいぶん良くなったな
と思っておりますが、年の初め
に災害が起こって2日には、あ
のような事故が起こりまして、

これが何を示しているのかちよ
つと気がかりです。

でも私たちは秩父市の皆さま、
それぞれが役割を一生懸命果た
していただきながら、市民の皆
さまの安心・安全のまちづくり
のためにご尽力いただきたいと
思います。

市議会、県議会の時からずつ
と人口統計が気になっておりま
して、最近になって皆さまに気
にしていたくようになりまし
た。ご承知の方もいらつしやる
かと思いますが、秩父市の新生
児が300人を切っております。
秩父郡市を合わせまして500
人を切りました。将来、これか
ら10年後、20年後子どもたちが
どこまで減るのだろうか、0には
ならないと思いますが、それに
近い数字になったら、本当に秩
父市の将来は消滅都市になって
しまうかなと思います。

婚活も大事ですし、出会いに
も、それぞれ取り組んでいただ
きながら新しい時代に向かった
子育て支援、もうひとつには高
齢者の方々に大変お骨折りを
いただきましたので、そういった意
味では健康で長生きをしていた
だくような政策をしていなか
ればいけないと思います。

来年の年が明けますと、植樹

祭、天皇后両陛下がお見えに
なりまして、秩父の大きな歴史
に残る事業になります。埼玉県
が今回で2回目となりますけど、
47都道府県の中の埼玉県2回
目、第10回と第75回と節目にな
ります。これから将来、埼玉県
に3回目があったとしても、二
度と秩父に植樹祭が来ることは
ありません。それをぜひ皆さん
に認識していただいて、植樹祭
は秩父では最初で最後。そして
また、この後20年後、30年後く
らいになります。皇太子がお
見えになります。天皇后両
陛下が御手植えした苗木の手入
れをしていただく育樹祭。これ
が終わりますと二度と秩父に植
樹祭も育樹祭も来ません。その
ような中で歴史的な瞬間にぜひ
皆さん立ち会おうわけですから、
誇りをもっていただいて、皇室
の天皇后両陛下のお姿を見て
いただく機会があるかと思いま
す。そういった中で全国から四
千人前後の様々なお客様が見
えになります。お見えになり、
ミューズパークだけで帰ってし
まわれては困りますので、今秩
父の中では、番場通り、東町通
りの一つの景気対策でまちづく
りをしようということ、そし
て、各屋台長さんをお願いして

ございますが、夜祭の6台の屋
台を秩父神社さんに飾り置きを
させていただきます。下郷、中
近については飾りをつけてやっ
ていただきたい。また、夏祭り
には西武駅前と地場産駅前にそ
れぞれ4台づつ飾るようにして
いただきたいということ各屋
台長さんをお願いをしております。
今年度新しい予算の中で
取り組んでいきたいと思いま
す。

もう一つ大きなことは、新し
い市立病院の建設に向けて準備
室を設置いたしました。これは
医療、福祉、そして教育とい
うのは最低でも三点セットです
から、そういう中で、ここに住む
人たちが、若い人たちが住むた
めには、医療の充実、福祉の充実、
教育の充実というのは欠かせな
いですね。ですからそういう中
で様々な政策を打ち出していき
ますので、皆さんも今まで経験
したこと、そしてこれから経験
すること、あるいはご自身で持
っているいろんなアイデアを
ぜひお寄せいただきたいと思
います。私の方でも取り上げさせ



ていただきながら、市民の皆さんに満足していただけるような行政づくりをしていきたいと思っております。

今日も午前中に市の職員にお願いしたのは、自分の価値観で物は決めないで欲しい。やはり市民の皆さまの目線で価値観を決めてください。「自分の自己評価はしないほしい」「評価は他人がするものです」ということでお願いをさせていただきました。

若い人たちには失敗を恐れず、果敢に挑戦をしていただきたい。良いことがあれば私に言ってもらいたい。ただければ私がとりあげます。失敗を恐れず、一生懸命頑張つてやったことについては、私はできることはフォローします。

まじめに、一生懸命、初心を忘れず取り組んでまいりますので、今年一年いろいろとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ぜひお許しいただきながら、ご支援いただければありがたいというふうに思います。この令和6年が、皆さまにとって、仕事もプライベートも、健康にご留意していただきながら、素晴らしい年になりますことを心からお願ひ申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

す。これからもよろしくお願ひします。

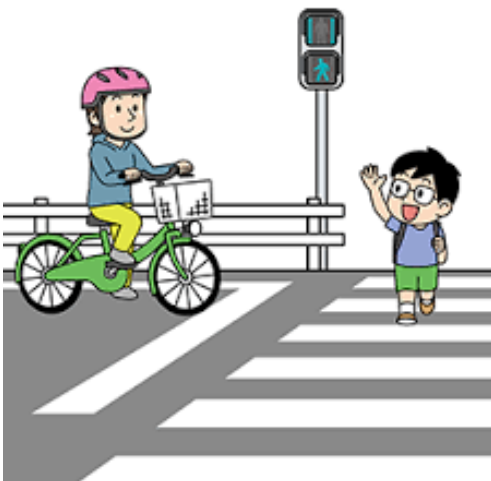
配分金支払証明について

毎年発行している配分金支払証明書（令和5年1月から令和5年12月までに就業された方だけに発行）は、後日改めて郵送いたします。

なお、証明書は再発行できませんので、取り扱いには十分注意してください。

自転車ヘルメット着用宣言

道路交通法の一部改正（令和5年4月1日施行）により全ての自転車利用者に乗車用ヘルメット着用が努力義務化されました。



当センターでは、埼玉県警の「かぶる・広がる・命を守る みんなでカチッと!!プロジェクト」に賛同し、11月20日付で、「自転車ヘルメット着用宣言」したことから、県警より「自転車前かごカバー」125個を受領いたしました。

自転車かごカバーをお配りします。数に限りがありますので、ご希望の方は、事務局までお声がけください。



フレイル予防教室

平成31年1月にスタートしたフレイル予防教室は、参加者が楽しく活動しています。

12月5日（火）には、行田市シルバーの会員、職員の皆様からフレイル予防教室を事業として始めたいということ、見学に訪れました。高齢化が進み、少しでも健康でいられる期間を長くしたいと考えている方が少しずつ増えていくようです。

当日は、ちちぶエフエムでのリポート放送も行い、会場は盛り上がり 있었습니다。一人でも多くの方にご参加いただければ幸いです。



令和5年度満足度調査

10月1日から10月30日にかけて、無作為にお客様100件対象

にアンケート調査を行いました。67件の回答をいただき、約9割の満足を得ています。

今回もお褒めの言葉が多くありました。

今後参考になる意見をいただいていますので、一部ご紹介いたします。

「高齢の一人暮らしなので庭の手入れ等大変助かっています。」

「急にお願いしても対応していただき感謝しています。」

「振り込みがもう少し楽になってほしい。」↓(便利なコンビニ支払いがあります。)

相談で来所の際は電話を

会員が事務所に相談で来られた時に、担当職員が不在で話が来ずに、帰るといふケースを良く見かけます。無駄足にならないためにも、事前に電話を入れ、在席を確認しましょう。



また、電話の相手が会員か、お客様か分かりにくい場合があります。事務局に電話する場合には、「会員の〇〇です。」と名乗ってから用件を話しましょう。ご協力よろしくお願ひします。

令和6年能登半島地震 災害義援金受付

石川県等に被害をもたらした令和6年能登半島地震災害による義援金箱を本部事務局に設置しました。義援金は秩父市を通じて全額を被災地にお送りします。他の場所でも受付しているとは存じますが、ご協力お願いします。



就業体験

会員登録を検討されている方を対象に、毎月入会説明会時に就業体験を行っています。

独自事業のシルバー農園種まき体験、手作りまんじゅう丸める作業体験、手芸作成体験、折り紙作成体験を実施しています。体験は、登録前の方が対象です。シルバーに興味をお持ちの方がいましたら、入会説明会への参加をお勧めください。

体験事業そのものは、会員の皆様に参加いただけます。参加してみたいとお考えの方、お声がけください。



会員活躍ひろば

今年最初の会員活躍ひろばは、折り紙の相澤三郎さんにインタビューしました。

(質問)シルバーに入会されて何年になりますか。

(相澤)シルバー人材センターでの制作は八年ほど前からですが、折り紙は昭和三十七年頃から趣味で始めました。最初の作

品は蝶で本を見て覚えましたが、(質問)今ではどの位の作品がありますか。

(相澤)私の作品は主に立体折り紙で、レパートリーは二百種ほどになります。平成元年にじばさんセンターで開催された秩父の小鳥展でシジュウカラ、キジ、ハト、ニワトリ、ヒヨドリなど展示して評判になりました。(質問)そのほかのジャンルにはどんなものがありますか。

(相澤)作品はすべて私のオリジナルで花ではキキョウ、ユリ、昆虫はクワガタ、カブトムシ、セミ、蝶、魚では金魚、ニジマス、カニ、動物はゾウ、犬のダ



ツクスフンド、イノシシ、豚などです。相撲の取り組みなどもあります。

(質問) 折り紙はどのようなものを使いますか。

(相澤) いろ紙をよく使いますが、包装紙などで変わった模様のもをよく使います。手漉き和紙は薄いので使いづらいですね。形は正方形、長方形、五角形、六画面などです。

(質問) どのようなところで作品を披露してますか。

(相澤) 作品の一部はシルバール材センターのショーウインドウに陳列しますが、平成元年から二十年間、矢尾百貨店での親と子の自然教室で低学年の児童に折り紙で昆虫などを教えておりました。また、ウニクスで四月から十月の第一日曜日に折り紙作品の大型の魚とイカを五匹ほど利用した魚釣り大会を実施しています。この外にも県民活動センターなどでも行っています。子供たちに好評で、毎回来ている子供もいます。

(質問) どのところが好まれると思いますか。

(相澤) 「大物賞」や「五匹釣ったで賞」など賞品に制作した折り紙を差し上げて喜ばれているところでしょうか。

(質問) 創作のアイデアはどのように生まれるのですか。

(相澤) アイデアは現物を思い浮かべながら試作を繰り返して完成させますが、お客さんのリクエストで考えることもあります。お相撲の取り組みなどはその例です。

(質問) 折り紙が本当に好きなんですか。

(相澤) 私は農作業や山仕事が好きなんです。雨の時など室内向きの作業をしたくなり、折り紙に取りかかったのです。いわゆる晴耕雨読ですね。でも、今では折り紙が生きがいとなっています。

(質問) 新しい創作の考えはありますか。

(相澤) 折り紙ではありませんが、今までに漢字で仏画を描いたことがあります。法隆寺の月光菩薩の掛軸や観音菩薩を般若心経を毛筆で描いてみました。今、考えているのは、色紙に百人一首を書き歌人の折り紙を添えることなどです。

(質問) それは素晴らしいですね、いつ頃完成しますか。

(相澤) 今、制作にかかったところですが、近いうちに披露できればいいんですが。



(質問) それは待ち遠しいですね。完成を楽しみにしております。どうぞお身体に気をつけてご活躍ください。本日は長時間にわたり大変ありがとうございました。

シルバー農園収穫祭

平成21年に開園したシルバール農園で、12月24日に収穫祭が行われました。

コロナの影響で、イベントへの参加が制限されていましたが、今年度は、8月19日にいきいき埼玉サマーフェスタ、10月20日に伊奈町商工フェスタに参加し、野菜の販売を行いました。

農園班の会員は、令和6年度も安心・安全な野菜づくりをしてきたいと張り切っていました。

シルバー農園会員募集！

シルバー農園班では、農園作業を希望する会員を募集中です。

農作業を通して、自然とふれあいながら、会員どうし和気あいあいと一緒にお茶飲みをしてみませんか？

ご希望の方は、事務局まで申し出てください。

